



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布 1998年1月～3月
Author(s)	石川, 正雄; ISHIKAWA, Masao; 高塚, 徹 他
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 57, 45-61
Issue Date	1999-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/18818
Type	departmental bulletin paper
File Information	57_p45-61.pdf



Masao ISHIKAWA, Tohru TAKATSUKA, Mitsuo IKEDA, Kunio SHIRASAWA and Masaaki AOTA
1998 Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido observed using a sea-ice radar
network, January-March, 1998. *Low Temperature Science, Ser. A, 57. Data Report.*

レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布*,** —1998年1月～3月—

石川正雄・高塚 徹・池田光雄***

白澤邦男・青田昌秋

(低温科学研究所)

(平成10年12月受理)

要旨:北海道大学流氷観測用レーダー網による北海道オホーツク海岸沖の1998年1月17日から同年3月27までの毎日午前9時における流氷分布を示した。流氷分布図の作成は、レーダー画像処理装置を利用して以下の手順にしたがって行われた。①枝幸、紋別、網走、3局の各レーダー映像を画像処理装置の・ブラウン管面上で重ね合わせ、3局合成レーダー画像を作る。②波浪や雲からくる妨害信号を人手によって除去する。③氷縁や氷湖などを線でなぞり流氷域を明確にする。④地図画像上に重ね合わせ、流氷域に斜線を施して流氷分布図を完成させる。氷野内には大小無数の氷湖が存在する場合もあるが、作図に当たっては、氷縁と比較的巨大的な氷湖に主眼をおいた。レーダー映像写真およびレーダー画像データは、流氷期間中3時間毎に保存されている。詳細な流氷分布の変化を追跡する場合には利用できる。なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、流氷量変動に関しての統計的整理が行われ、その結果は低温科学 物理篇第47輯に「北海道沿岸の流氷量の変動」と題して報告されている。

Abstract : Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido were observed using a sea-ice radar network and were drawn manually at 0900 JST from January 17 to March 27, 1998. In addition, time series pictures of Radar images were taken automatically every three hours through the sea-ice season.

キーワード : 流氷分布, オホーツク海, 北海道, 流氷観測用レーダー網, レーダー映像写真

Key words : Pack Ice, Okhotsk Sea, Hokkaido, Sea-Ice Radar Network, Radar Image

* 北海道大学低温科学研究所業績 第3952号

** 北海道大学低温科学研究所 流氷研究施設 研究報告 第153号

*** 現在 北海道大学言語文化部視聴覚教育資料室































